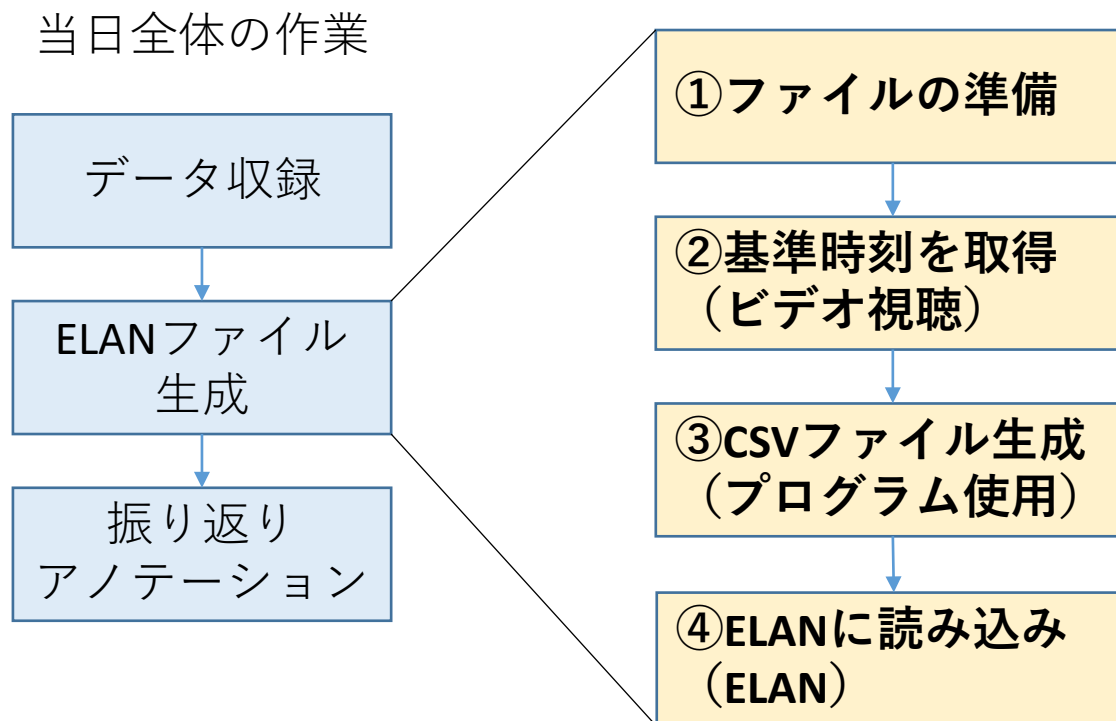
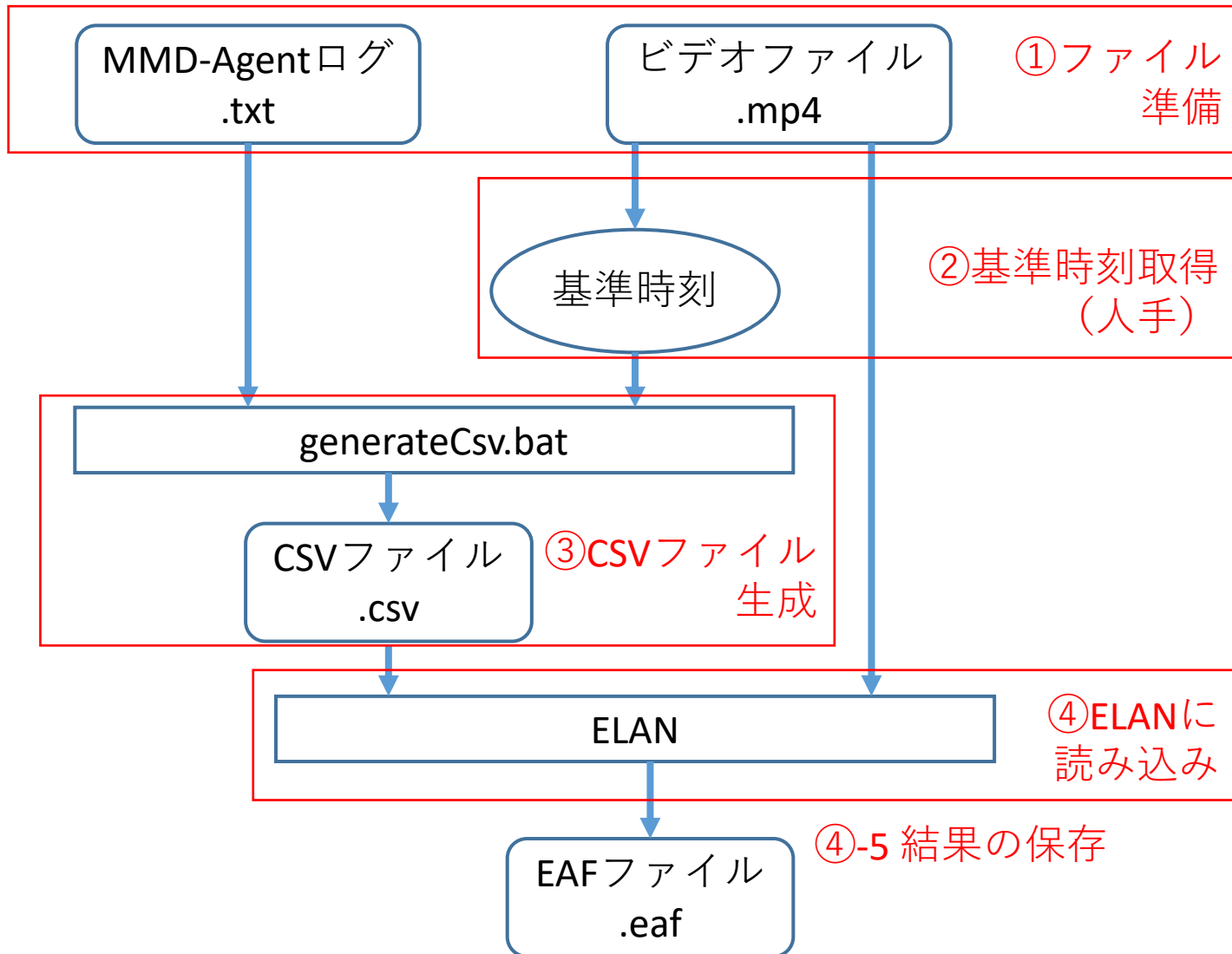


ELANファイル生成概要



全体の流れ



① ファイルの準備

1. ビデオファイル

- ビデオカメラから取り出す
- .mp4

2. MMD-Agent ログファイル

- Wizard操作PCにある
- .txt

- いずれもファイル名に、インターグループが設定する参加者IDを含める
 - 例： f2001.mp4, f2001.txt
- ビデオファイルとログファイルは別フォルダにしましょう

②基準時刻を取得（ビデオ視聴）

- 取り出した動画ファイルを見て、**あらかじめ決めたシステム発話の開始時刻**をメモする
 - 秒単位
 - 2分45秒 ⇒ 165
 - そこから再生を始めて、発話の内容が聞き取れるように

既存データの場合（練習時）の基準発話

- 「これから「〇〇」の話をしましょう」
（「これから対話を開始します、・・・」の次）

新データ収集時の発話はこれから決めましょう

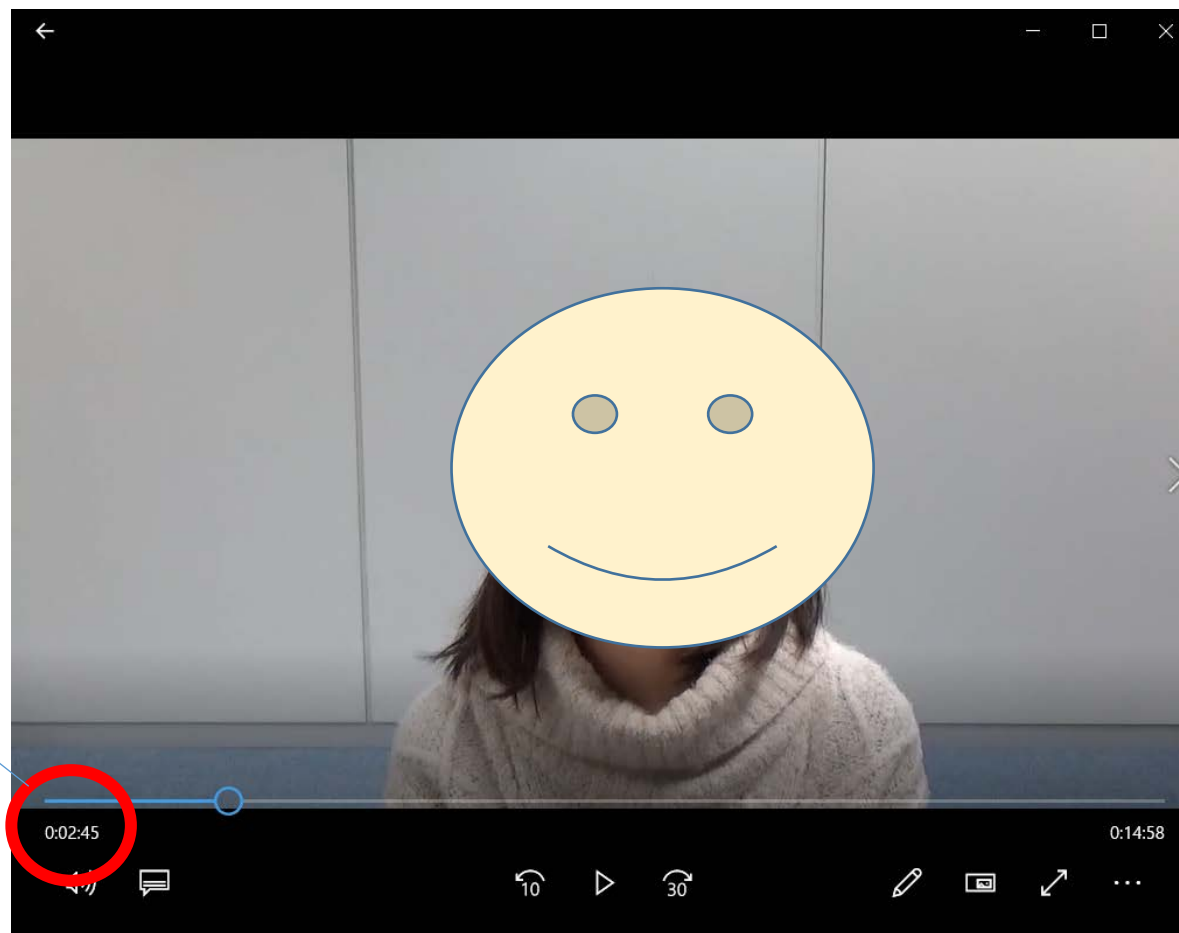
- 案：「これから本番の収録を開始します」等
- 一度しか言わない&必ず言うものにする

※もし間違って、収録当日、基準発話を2回してしまった場合

- 本当の本番開始前：一度ログファイルを消して、再度やり直す
- 本当の本番開始後：（おそらく）問題ない

②基準時刻を取得（ビデオ視聴）

コレ！
02:45
⇒ 165秒



③CSVファイル生成（プログラム）

前提：以下の2ファイルが同じフォルダにある

- OutCsvELAN.py
- generateCsv.bat

手順

1. ①で用意したMMD-Agentのログファイル（例 f2001.txt）を、generateCsv.batのアイコンにドラッグ&ドロップする
2. 黒いウィンドウが現れるので、②で取得した時刻（秒）を半角数字で入力する
3. 「作成に成功した」と出たらOK. CSVファイル（例 f2001_elan.csv）が、ログファイルと同じ場所に生成される.
4. 何かキーを押し画面を閉じる

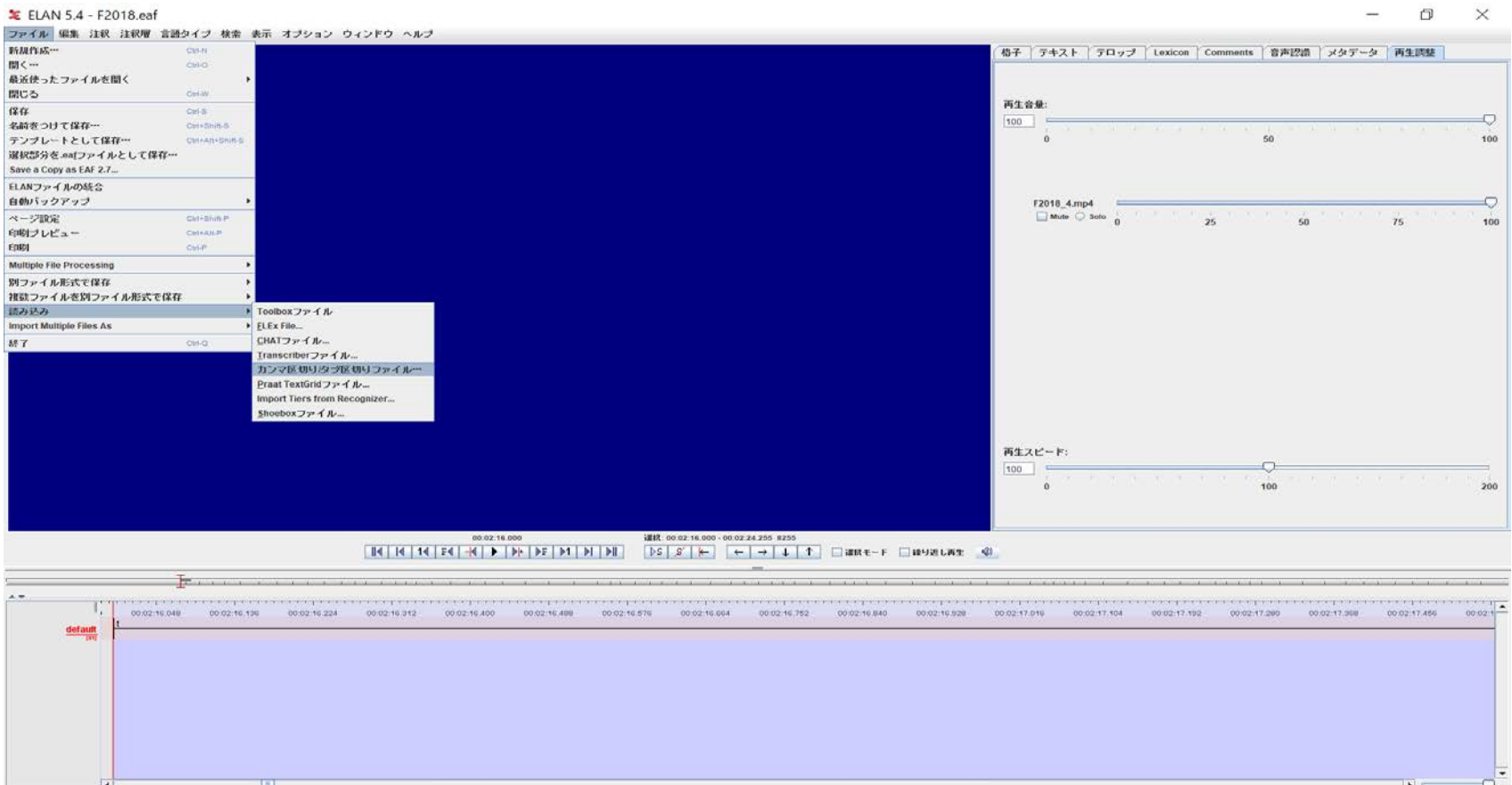
④ELANに読み込み（ELAN）

手順

1. ELANを起動
2. CSVファイルを読み込む（③で生成したもの）
3. 動画ファイルを読み込む（①で準備したもの）
（2と3は次ページ以降に詳細あり
参考：http://12kai.com/elan/elan_import.html）
4. 完了．発話開始がずれていないかを数か所でチェック．ずれていたら②からやり直す．
5. 保存する．EAFファイル（例 f2001_elan.eaf）として保存される

④-2 CSVファイル読み込み

- a. ファイル→読み込み→カンマ区切りタブ区切りファイルから「アノテーション区間csv」を選択



④-2 CSVファイル読み込み

b. 読み込みオプションを4か所、以下のとおり指定してOKを押す

1:注釈, 2:開始時間, 3:終了時間, 4:間隔

読み込み: F2018_elan.csv

読み込みオプション

列を選択し、データのタイプを指定して下さい

1	2	3	4
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
注釈	開始時間	終了時間	間隔

☐ 1行目のデータを指定

☐ 区切り文字を指定

☐ 注釈時間間隔の初期値: 1000

☐ skip empty cells, don't create empty annotations

OK キャンセル

④-3 動画ファイル読み込み

- 編集→リンクファイル
- 「追加」ボタンを押し、対応する動画ファイルを指定
- 「適用」ボタンを押す

